

電源コードの断線による事故が発生しています

◆ドライヤー

事例

ドライヤーの電源コードから火花が散って、腹部にやけどを負った。(平成20年9月 神奈川県)

原因

ねじれや折り曲げなどの繰り返しで、芯線が断線して異常発熱し、ショートしたものです。

◆電気毛布

事例

電気毛布の電源コードから発火して住宅を全焼し、やけどを負った。(平成20年3月 茨城県)

原因

電気毛布の電源コードをベッドの脚で踏んだ状態で使用していたため、コードの芯線が断線してショートし、周囲に延焼したものです。



机の下敷きになった電源コードから発火 (NITE再現実験)

◆電気あんか

事例

電気あんかが急に熱くなり、ふとんが焦げた。(平成20年2月 山形県)

原因

収納時に電源コードを本体に巻き付けていたことから、芯線が断線してショートしたものです。



無理に曲げたり、ねじったりしないでください。

傷つけたり、重いものを乗せたり、ドアなどに挟み込んだりしないでください。

束ねないでください。

先端の電源プラグ部分を持って引き抜いてください。

本体に巻き付けしないでください。

取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。



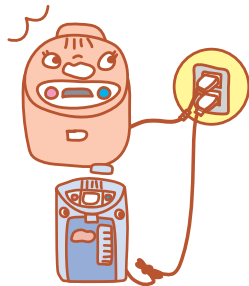
許容電流を超えたために火花

事例

レンジ台のコンセント(2口)に電気ポットと炊飯器をつないで同時に作動させたところ、電気コードから火花が出て、壁が焦げた。(平成20年1月 静岡県)

原因

電気炊飯器と電気ポット(合計2000W以上)を同時に使用したため、許容電流(15A)を超え、さらに電源コードがねじれや折れなどの状態だったため、異常発熱によりショートしたものです。



使用できる消費電力の合計を守ってください。

素人修理で発火

事例

タイマーを入れていた電気炊飯器から異臭と異音が生じて発火、電子レンジなどを焼いた。(平成20年5月 宮城県)

原因

自ら電源コードを交換したため、接触不良となったために異常発熱し、ショートしたものです。



電子レンジや布団乾燥機など多くの製品から同様の素人修理が原因の事故が発生しています。素人修理は絶対にやめましょう。

このマークは、取り扱いを誤った場合、重篤な被害を負うことが予想されますので注意をお願いするものです。